

質 問 順 位	5	質 問 者	館 内 孝 夫 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 市民行政	1. LGBT (エル・ジー・ビー・ティー) を含む性的少数者の方たちへの理解と周知について	1. LGBTとは、レズビアン（女性の同性愛者）、ゲイ（男性の同性愛者）、バイセクシュアル（両方の性別を好きになる人）、トランスジェンダー（性的違和・性同一性障害を含め、生まれたとき法的・社会的性別とは一致しない人）の頭文字を使った略語です。最後のマイノリティ（少数者）と呼ばれています。日本での当事者数は正確な実態は把握されていませんでしたが、電通総研の2017年調査では7.6%という数字が出ています。単純に本市の人口で換算すると3,116人になります。実際のところ滝川市内の人数は明確ではありませんが、当事者はいると思われます。 札幌市においては、LGBT当事者が身近に存在することを告知する印刷物を準備し、各施設や民間の協力店舗に置き周知を進めています。旭川市保健所でも印刷物を配布し、職員に向けた勉強会を今秋に予定しています。小樽市では先々月の広報誌に掲載し、市民への周知を進めています。 本市では、人権の保護や差別・いじめの解消を目指す啓発活動として、市職員や市民に対して周知等を行う計画があるのか伺います。		
	2. 避難所の見直しについて	1. 北滝の川地区福祉会館の廃止に伴い、北滝の川地域の水害による避難勧告・避難指示のある場合の避難場所は、同会館から北地区コミュニティセンターに変更されます。しかし、この地域の町内会長さんから、「なぜ近くの滝川工業高等学校や滝川第二小学校でなく、北地区コミュニティセンターなのか、おかしい。」と相談を受けました。 滝川工業高等学校西側の函館本線を越えたところに住んでいる住人にとっては、100メートル先の滝川工業高等学校を通り越して1キロメートルほどもある北地区コミュニティセンターまで行かなければなりません。7月の住民説明会では、その点についてどのように説明したのか伺います。		

質問順位	5	質問者	館内孝夫議員	
件名		項目	要旨	メモ
			2. 緑町連合町内会は、8月1日に市役所を訪問し、市長に要望書を提出しました。内容は、緑地区コミュニティセンターを水害以外の災害で避難所に指定する場合、連合町内会が管理するコミュニティセンターを横目に見ながら遠い避難所へ避難しなければならない理由が理解できかねるというものです。また、水害時の避難場所はスポーツセンター第2体育館になっているが、高齢者や病人も多く東小学校など近いところにしてほしいというものです。どのように説明したのか伺います。	
			3. 前述の2つの事例から、居住地に近い避難所でない避難所が指定されている地域が少なからずあるのではないかと。近くの避難所を通り越して遠い避難所に行くというのはいかがなものか、改善についての考えを伺います。	

質 問 順 位	5	質 問 者	館 内 孝 夫 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
2. 公共施設料金	1. 公共施設の体育館利用料金と備品利用料金について	1. スポーツセンターとコミュニティセンターの体育館を利用する際には利用料金がかかります。小・中学生 50 円、高校生 100 円、一般 150 円です。さらに備品を利用する場合にも利用料金がかかるのは、中空知管内では滝川市だけです。 主な料金は、卓球台ネット付き 70 円、バドミントン支柱ネット付き 70 円、ミニバレー支柱ネット付き 70 円、以上はスポーツセンターとコミセンは同額、スポーツセンターにある備品は、ほか、バスケットゴール組280円、バレーボールコートネット付き一面210円です。ほか、バレーボール、ミニバレーボール、バスケットボールに関しては50 円となります。 中空知管内では芦別市、歌志内市、新十津川町、上砂川町、浦臼町が小中学生から利用料金と備品利用料金を徴収していません。また、市内・市外の2種類の料金設定をしている自治体は、新十津川町、奈井江町、浦臼町、上砂川町です。 小学生、中学生、高校生と各年齢層によって興味のあるスポーツや遊びに違いはあると思いますが、保護者からはできるだけお金がかからない遊びをしてほしいという気持ちを伺っています。児童生徒も、仲間と一緒に遊びたいと願っています。そういった市民の気持ちを考えますと、現時点で見直していく考えはあるのか伺います。		